

# “ 農地・水・環境保全 ” 水土里のネットワーク通信

第113号

2017. 12. 1発行  
島根県農地・水・環境保全協議会

## 機能診断・補修技術等研修会 ～水路の目地補修施工～を開催

島根県農地・水・環境保全協議会では、機能診断・補修技術等研修会「水路の目地補修施工」を、11月27日益田市、28日松江市で開催し、139組織 194名の参加がありました。



松江会場

研修会では

初めに「水路の目地補修施工」として

- 平成19年度、平成22年度の目地補修研修会で施工したモルタル補修箇所の経過報告
- 5種類の資材を使用した補修方法の紹介

11月初旬に、浜田市金城町下久佐地区の水路で地元及び県、協議会で5種類の資材（水中ボンド、モルタル（インスタントセメント・フィックスLS）、シーリング材、止水テープ）を使用し、目地補修を実施。その際の施工手順や施工時の注意事項、資材の比較などを紹介。



水中ボンド



シーリング材

次に、補修資材の中でなじみが薄い「止水テープ（アグリパッチシール）」についてメーカーから具体的な説明がありました。最後に県から「多面的機能支払制度の制度変更等の情報があれば、随時、市町村等を通して組織の皆様へお伝えする」、また、急傾斜の草刈りにヤギを活用した事例などの情報提供がありました。

アンケートでは、水路補修に使用されている（使用したい）資材はモルタルが約60%、続いてコーキング材が約40%でした。また、工法や資材については、多くの組織が「施工が簡単」、「耐久性の良さ」を望まれていました。「目地補修が自分たちでもできることがわかった」、女性からも「自分でもできそうな気がした」と感想をいただきました。

水路の状況は地域によって異なります。水路へ流れる水を止めることができない水路や、資材を運搬することが困難な場所にある水路など、その状況にあった資材や工法を選択することに加え、選択した資材の効果を十分に得られように取り扱い説明に沿って施工することが重要だと思います。

参加された活動組織の皆さん、お疲れ様でした。

（研修会の資料は協議会のホームページでご覧いただけます。）

## レポート

# 平成29年度多面的機能支払交付金 事例研究会現地視察に参加して

島田農水環境保全活動組織（安来市）  
書記 岩崎 幸志

平成29年度多面的機能支援交付金事例研究会（農林水産省農村振興局主催）における現地視察に参加しました。視察先は、東京都府中市で、受入れ団体は『Team<sup>そうだほり</sup>雑田堀』さんでした。現場は、宅地化が随分と進んだ市街地であり、農地は宅地の間に細々と残っているという感じでした。専業農家はなく、農業従事者も少なくなってきたとのことでした。そのような中、10数年前に「Team 雑田堀」の前身である「雑田堀用水に親しむ会」が立ち上げられたそうです。農業用水路の清掃活動を農業者だけでなく、学校児童、PTA、教職員、地域住民で取り組み、「雑田堀用水に親しむ会」の立ち上げ当時から10数年間、毎月続けられているそうです。今では地元企業なども活動に参加しているとのことでした。

私も普段から、「子どもを中心とした活動を行うことは、地域住民が集まるための動機付けがしやすく、また、将来に続く地域のファンづくりにも大きく貢献する」と考えていたので、まさにそれを実践し、成功している地域だと感じました。

今回の現地視察でもう一つ感じたことは、用水路を守ることで町の絆が強まり、農地の保全に限らず、街づくり、地域の絆づくりに大きく貢献しているのだろうと感じました。開会式の場所や説明での移動中に、たまたま居合わせた住民との打ち解けた会話のやり取りや、道路や緑地の管理状況などからも、ここに住んでいる人たちの地元愛が滲み出ていました。

島根の農地事情とは随分と違っていました。農業従事者不足、農業施設の管理費難という点では共通する点も多く、参考となる事例だったと思います。特に、きっかけづくりと、周辺住民の取り込みに成功すれば、継続的な活動が出来ていくという点では参考にすべき点が沢山あったと感じました。



住宅地に囲まれた農地



PTAが中心となり清掃活動  
が続く用水路



用水路の一部がビオトープに

## 平成29年度多面的機能支払 中国四国シンポジウムin志国高知 が開催されます

日時：平成30年1月25日（木）14:00～17:00

場所：高知県立県民文化ホール オレンジホール

詳細につきましては「別紙開催内容」をご覧ください

参加を希望される活動組織は、12月13日（水）までに協議会事務局に電話でお知らせください。（TEL0852-32-4141）

※本シンポジウムは、「事務研修」に該当します。

### 頑張っているリーダー受賞 南北地区資源・環境を守り隊（隠岐の島町）

島根県では「持続的に発展する島根の農林水産業・農山漁村」の現実に向けて、地域の創意工夫に基づき積極的に活動している方を「頑張っているリーダー」として知事表彰が行われています。

今年度多面的機能支払関係者では、個人で始めた水仙の植栽が地域全体の取り組みとして発展、世代を越えた地域の一体感を醸成するなど地域の活性化に大きく貢献されたことが評価され「南北地区資源・環境を守る会」（隠岐の島町）の藤田一志さんが受賞されました。



後列左が藤田さん



### ようこそ相談室へ



**Q 耕作者が高齢となり自分で耕作できなくなりました。家族や地域で耕作する人を探しましたが見つからず、協定期間中の営農継続が出来ません、この場合、交付金の遡及返還が必要となりますか？**

**A** 高齢化による営農継続が困難で、地域での共同管理（年一回の草刈り）もできない場合は、「やむを得ない事由」として協定面積からは外しますが遡及返還は免除されます。

ただし、地域全体の営農に支障が生じないよう活動組織内で十分に話し合いを行ってください。  
（「やむを得ない事由」に該当するかどうか、市町村担当者に確認してください。）

**Q そのような話し合いについては、毎年の活動要件となっている「地域資源の適切な保全管理のための推進活動」の「農業者による検討会の開催」に該当しますか？**

**A** はい、該当します。

その場合、話合われた内容を簡単にメモ書き等で整理し、組織で保管しておいてください。

## ★お知らせ★

平成 29 年度「実施状況報告書」、「活動記録」、「金銭出納簿」の様式が変更になりました。協議会のホームページからもダウンロード出来ますのでご活用ください。

水土里ネット島根の事務支援システム「助さん」を使用されている組織は、12月に送られてくる「助さん更新版」をインストールしていただくと様式が自動で変更されます。



## ★12月、1月の予定★

12月18日(月)、22日(金)

平成29年度事務実務研修会(松江市、浜田市)

ちょっと一息  
おたよりコーナー



## 大田市で「実施状況報告書作成」の勉強会を開催しました。

### 協議会事務局

11月初旬に大田市で水土里ネット島根の事務支援システム「助さん」を使った報告書類作成の勉強会を開催しました。

今年度初めて「助さん」を使う、「助さん」を頼んでいるけどイマイチ使いこなせん。。。。

と色々な組織の方に来ていただき一緒に「活動記録」、「金銭出納簿」、「実施状況報告書」を作成してみました。

「なんと良いもんだなあ〜」「もっと早く教えに来てほしかった〜」という貴重なご意見もいただきました。

報告書類の作成がイマイチ分からないという組織の方がいらっしゃいましたら、協議会事務局へご連絡ください。一緒に書類を作成してみましょう。



### 活動事例募集中!

あなたの組織の活動をネットワーク通信で紹介してみませんか。組織の紹介でも構いません。「原稿を書くのはどうも・・・」と思われる方は、お話を伺ってこちらで記事をまとめます。「ウチの活動を紹介してみよう」と思われる方は、まずはお気軽にお電話ください。

TEL (0852) 32-4141、メール shigenhozen@shimanedoren.or.jp  
水土里ネット島根「ネットワーク通信」係まで



### ～担当者の声～

この4月から島根県農村整備課で多面的機能支払交付金の担当となりました高橋です。日頃より、当交付金へのご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。

相談会などを通して、皆様からご意見をいただき、当交付金が皆様のお気持ちに添えていないところがあると痛感しているところです。何か方法はないものかと思案しておりますので、引き続きご意見をいただければと喜びます。よろしくお願いたします。

### ～多面的機能支払交付金に関することは～

#### ◆島根県農地・水・環境保全協議会

〔事務局〕水土里ネット島根

Tel 0852-32-4141 Fax 0852-24-0848

<http://www.nouchimizu-shimane.jp>

#### ◆島根県農林水産部農村整備課資源保全スタッフ

Tel 0852-22-6262

[http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/nougyo/kojo\\_taisaku/](http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/nougyo/kojo_taisaku/)

#### ◆又は最寄りの各市町村担当課までお問い合わせ下さい。



飯山環境保全協議会(出雲市)